

第 3 次秋田市総合交通戦略（素案）に対する意見とその対応（案）

番号	意見本文（原文ママ）	対応（案）
1	<p>今回の大雪で国道・県道・市道で管轄の違いからか除排雪作業で差ができてきている気がしたので国や県と連携してほしい。歩道、側道に除雪の雪がたまり歩行者、自動車双方に支障が生じました。</p>	<p>国道・県道・市道については、主要幹線道路や交差点部において連携を図って除雪作業を行うこととしております。 今後も、除排雪時のタイミングをあわせ、道路に段差が生じない作業に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。</p>
2	<p>歩車分離式信号、ラウンドアバウトの導入や道に迷わないように主要地点標識などを増やす</p>	<p>信号や案内標識については、状況を見ながら整備を検討してまいります。ラウンドアバウト（環状交差点）については、用地確保等の課題があるため、他都市の事例等について研究を進めてまいります。</p>
3	<p>車は商店や医院利用者に対して駐車料金の割引があるので鉄道やバスなど公共交通機関利用者に対する、割引などの政策が必要</p>	<p>駐車料金の割引については、商業施設等が独自に行っているサービスですので、公共交通に対して、ただちに同様のサービスを行うことは困難ですが、ICカードの導入を踏まえ、利用しやすい運賃等の検討は進めてまいります。</p>
4	<p>計画に示された以外にも、歩行者が車に遠慮して歩かなければならない道路は多数ある。歩道がない通学路や車が多く狭い踏切周辺など、危険性が高い場所もある。 それらの早急な道路整備は無理でも、優先的な除雪と排雪、運転者への啓発等、多角的に対策してほしい。</p>	<p>ハード面での整備については早急な対応は困難ですが、交通安全に関する啓発活動や必要に応じた除排雪の実施などにより、安全の確保に努めてまいります。</p>

第 3 次秋田市総合交通戦略（素案）に対する意見とその対応（案）

番号	意見本文（原文ママ）	対応（案）
5	<p>融雪歩道にはとても助かっている。しかし、経年のためか部分的もしくは全面的に機能していない道路が散見される。保守や更新の費用は少なくないと考えられ、やみくもに増やすのは不安がある。既存設備の保守更新については、どうなっているのか。また、例えば地域住民や企業団体に除雪作業を委託（有償無償問わず）するような、設備に頼らない仕組みも必要ではないか。装置では対応しづらい、横断歩道やバス停部分の車道境界部の除雪についても、配慮願いたい。</p>	<p>歩道消融雪設備の維持管理および更新については、多額の整備費等が必要となるため、歩行者通行量、経年劣化による機能低下および周辺施設の状況等を考慮し、優先順位を付けながら更新等を行っているところです。</p> <p>歩道で消融雪設備を設置していない箇所については、民間事業者に委託して除雪を行っております。また、一部の区間においては、町内会等において市が貸与する機械または個人等が所有する機械を利用し除雪作業を行っております。</p> <p>また、横断歩道を安全に利用できるよう、除排雪時に幅員確保等を行っておりますが、今後も、適切に業者指導を行ってまいります。</p> <p>バス停部分の除雪については、ご意見を踏まえ、ビジョンP61の12番「利用しやすく安全なバス停の設置に向けた改善」の取組内容に「除雪状況」について追記しました。</p>
6	<p>バリアフリー化された歩道に駐停車する事例があるし、県外で起きたような暴走車が入り込む危険性は多少高くなると思う。車が入りづらい対策も整備してほしい。</p> <p>ブロックやタイル敷きの歩道では、経年でガタツキや段差が生じて、かえって歩きづらい所もあるので、施工や継続的な管理に配慮してほしい。</p>	<p>歩道のバリアフリー化については、段差解消に併せ、歩車道境界ブロックの設置により、歩道と車道の物理的な分離を図るものです。ご意見を踏まえ、戦略P57にもセミフラット方式の図面を追記しました。</p>
7	<p>歩道が十分に整備されていない場所があり、双方の安全が不十分などところがある。仁別のサイクリングロードについては整備が不十分だが費用面から見送り？事故防止のためヘルメットの着用や自転車保険の加入を義務付ける。</p>	<p>自転車利用環境の整備については、ハード面での安全対策と併せ、マナー向上やルールへの遵守に向けた啓発活動と併せて進めてまいります。サイクリングロードの整備、ヘルメットの着用、自転車保険の加入については、秋田県自転車活用推進計画および今後策定検討を進める秋田市自転車活用推進計画の中で検討してまいります。</p>

第 3 次秋田市総合交通戦略（素案）に対する意見とその対応（案）

番号	意見本文（原文ママ）	対応（案）
8	<p>横山金足線 交通量が多い、手形山～添川間で車線が減少してしまう、手形トンネルの構造上からか事故が発生し通行等止め、隣接する区間は住宅地があるが自動車では直接行けず遠回りする必要がある。計画時では想定されていなかったかもしれない。外旭川のスタジアムやイオンモールなどの開発が進んだ場合渋滞の悪化が懸念されます</p>	<p>外旭川地区の開発については、具体的な計画が示されているものではなく、現時点で対応すべきものではないと考えますが、今後何らかの方針が示された場合には参考とさせていただきます。</p>
9	<p>本年始の大雪では、除雪後の排雪が進まず、特に市道 2 か所において 2 週間以上迂回運行が続いた。秋田市では除排雪体制の原則として「バス路線優先」を掲げているが、これで実現できているのか。県道でも、バス路線の除雪が遅い箇所もある。バス路線はバスが通れるように維持してほしい。無理であれば、平常時から広い道路へ経路変更することを検討すべきだと思う。</p>	<p>バス路線については、バスが安全に走行できる道路幅員および路面状況の確保について、降雪による路面状況の悪化も含めた災害等に対応できる路線への見直しも含め、検討してまいります。</p>